

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年12月25日

【評価実施概要】

事業所番号	1171000282
法人名	株式会社寿エンタープライズ
事業所名	グループホーム八潮
所在地	340-0808 埼玉県八潮市緑町1-23-8 (電話) 048-999-4100
評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成19年12月13日

【情報提供票より】(平成19年11月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 9人, 非常勤 8人, 常勤換算	14.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	58,000 円	その他の経費(月額)	25,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり1,200円			

(4) 利用者の概要(11月26日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	72 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	広瀬病院・八潮中央総合病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの事業主体は、医療施設や介護施設などを経営している病院グループの関連会社で、グループホームやデイサービスを数箇所運営している。グループホームに隣接して地域包括支援センターがあり、すぐ目の前には総合病院があるなど、様々な意味で立地条件に恵まれている。ホームでは統括責任者、管理者がスーパーバイザーとなり職員の指導にあっている。また、職員の表情には明るさやゆとりがあり、利用者個々のペースに合わせてケアを行う姿勢がある。1階は車椅子対応のユニットになっていて、共有スペースはやや狭いが、2階は共有スペースが広く、イベントの開催などにも適している。施設内にはホームエレベーターも設置されており、利用者に活用されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価についての意義とねらいを職員に周知し、評価については「外の風を入れる」という姿勢で取り組んでいる。しかし、前回評価の改善課題について改善シートの活用などによる取り組みには至ってないので、今後の取り組みに期待される。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットの職員全員で話し合い、自己評価票に記入するなどの取り組みが行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議が開催されるようになって日が浅いが、家族の意見は反映されている。しかし、運営推進会議の活用が十分ではないので、今後は運営推進会議を十分に活用し、サービス改善への意見反映や質の向上につながるよう充実されることが期待される。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>月1回家族に利用者の様子を報告する際や、必要に応じて電話で連絡を取る際に家族の意見を伺っている。また、家族アンケートを行い、家族の希望や不満などを伺う他に、運営推進会議での意見などを運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会の方針によって自治会への入会はしていないが、地域で開催するイベントには参加している。また、公園や道路の草むしりなどを行っており、地域の住民との交流がある。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の役に立つホームでありたいという考えのもとに、地域を構成する一員として地域へのアプローチを行う中で、事業所独自の理念をつくりあげている。また、運営推進会議に地域住民の参加を呼びかけるなど、地域との交流に取り組もうとしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「喜びや楽しみを支援し、一緒に共感できるケア」という理念のもとに、認知症であるがために表出できない利用者の「思い」を日々のケアの中から探り、それを実現できるよう業務、カンファレンス等で確認しつつ取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で開催するイベントなどには積極的に参加している。また、公園や道路の草むしりなどの地域行事に参加しており、地域の住民との交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義や目的について職員に周知し、理解を図っている。外部評価の受審に当たっては各ユニットの職員が集まり、全員で話し合いながら自己評価票を記入するなど、積極的な取り組みが行われている。しかし、要改善の項目については具体的な改善に至っていない。		サービス評価を活用してこうという前向きな姿勢があるので、今後は前回の改善課題等に対する具体的な改善シートを作成するなど、職員のスキルアップや事業所の質向上に役立てて行けるような改善に向けた取り組みが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の代表者や地域包括支援センターの職員、民生委員などが参加して運営推進会議が開催されている。会議は開催されるようになってまだ日は浅いものの、検討事項等について話し合われており、サービスの質の向上へつながるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営の中で相談や報告がある際は、市行政と連絡を取るようにしている。また、市からの相談員の受け入れや、市行政と協同で企画を立てるなど、交流を図る中で関係を築くことができている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回定期的に家族に利用者の様子や金銭管理の報告を行っている。それ以外に必要な場合は電話で連絡をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族アンケートを行い、家族の希望や意見、苦情などを伺っている。また、運営推進会議で家族の生の声を聞き、それを検討し、運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在まで管理者の変更や職員の異動はない。また、職員の退職については止むを得ない場合を除き、退職による利用者への影響を最小限にとどめるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職日はホーム長が時間を掛けて心構えや方針、介護の留意点、個々の利用者の状態を伝えている。その他、外部への派遣研修のほかに、ホーム内では職員が担当するそれぞれの委員会が月1回テーマを決めて研修を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム間の交流はないが、他の施設の行事に招待されたり、同系列のグループホーム同士の勉強会などは行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居に抵抗がある方には、日帰りによる試し利用を何度か繰り返し行うなど配慮している。他の利用者や職員と馴染みの関係をつくってから入居してもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>常に利用者側に立って考え、喜怒哀楽を共にし、認知症によって失ってしまった、または失いかけている自信や誇りを取り戻していただけるようなケアを心がけている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ホーム長会議等で、利用者の思いや意向の把握の仕方などの検討を行っている。また、家族会、運営推進会議等で家族の意向を伺っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居後に、家族に利用者本人の様子を伝えながら、家族と相談しながら介護計画を作成している。また、ケアカンファレンスなどの意見も反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画に定められている期間ごとに見直しを行っている。大きな変化があった場合は家族と相談しながら計画を見直している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	特別な外出など、本人や家族 の状況や要望に応じて、柔軟 な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	家族や本人の希望に応じた支 援を行っている。また、2週 間に1度医師の往診があり、 医療機関との連携もとれて いる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	契約時に重度化した場合の 対応については検討してい るが、現状では終末期への 対応は難しい。		今後のグループホームのあり 方として、終の住処と言うこ とを考えれば医療体制の充 実は必須であり、訪問看護 師や医師とのネットワークを 構築するなど今後の取り組 みが期待される。
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバ シーを損ねるような言葉か けや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	本人の誇りやプライバシーを 損なうことが無いように、 日々の声かけなどに注意を している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先 するのではなく、一人ひとり のペースを大切に、その日 をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	急がせることなく利用者一 人ひとりのペースに合わせ るようにしている。また、 その時の利用者の様子を見 て無理のないよう、押し付 けがないよう常に声かけを して希望を伺って対応して いる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりのその日の気分を尊重し、押し付けることなく楽しみを優先し、一緒にできる方は職員と共に食事の準備や後片付けなどを行っている。また、そうでない方については、その方の意思を尊重している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に1日おきに入浴をしている。入浴をあまり好まない方については回数を調整したり、精神状態などを見ながらタイミングを見計らって入浴をすすめ、無理やり入れるようなことはしていない。入浴は午前午後ともに入れる体制にしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で自然と役割分担が決まっている。また、昔ながらの役割として、畑仕事をしていた方には畑を中心に活動して頂いている。その他気のあった仲間同士での外出支援などを行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常生活の中で個々の希望を聞き、散歩をしたい方には散歩の支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者本人の希望で居室に鍵をかけていることもあるが常時ではない。また、玄関には鍵をかけず、ユニットごとに職員が利用者の外出に注意するようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回消防訓練を行っている。また、委員会や運営推進会議などでも災害対策を話題として取り上げている。地域の協力を得るまでには至っていない。		今後は地域の自主防災組織に加入をするなどして、地域の人々の協力を得られるような働きかけを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の把握は毎食後に行っている。摂取量の低下やむせ込み、飲み込み困難などが生じたときは、利用者の状態に応じた調理にしたり、家族と相談して好みの食べ物を提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間などは季節ごとに装飾を変えるなど季節感を取り入れ、居心地のよい空間にしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人が使い慣れたものを持ち込んでいただけるように案内している。その他家族と相談しながら本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		